

令和3年度特別養護老人ホーム梨花の里事業報告書

1 運営方針について

「自立した生活、尊厳のある暮らしを守る」ために、各セクションでの定期的な会議を開催し日々のケアの検討を行った。検討結果に基づき、入居者一人ひとりの「満足できる生活」を実践することに努めた。

2 事業目標評価について

3カ年目標の『感染症対策の強化』『災害を想定した業務継続の取り組み』『デジタル化による業務効率化』『科学的介護』を推進した。

(1) 生活援助係（介護）の評価

ノーリフティングケアが職員間で定着しつつあり、吊り上げ式リフトや移乗ポート、ポジショニングクッションの使用頻度が増え、入居者の拘縮予防や悪化の防止効果、床ずれ予防といった成果がみられた。ICT 機器（眠りスキャン）や IOT 機器（介護記録ソフト）を携帯端末やタブレットと結びつけて1年間本格運用し、職員からは、「1か月の水分や食事量の平均値がリアルタイムで確認できる」「日中・夜間において居室にいる入居者の覚醒状況や心拍数といったデータを把握して適時対応ができた」等の声があった。また、ペーパーレス化も図られ、介護面と運営面で改善がみられた。コロナ禍で依然制限がある中、施設内で楽しめる昨年度と違ったイベントを創り出すことに積極的に取り組み、入居者の「満足できる生活」の一助となった。

(2) 生活援助係（医務）の評価

新型コロナウイルス感染症やその他の感染症対策について通年積極的に取り組んだ。結果、インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症の入居者罹患は皆無であった。職員家族の勤務先で発生した事例等があり、施設内での発生を想定してその都度、手洗い・消毒・ゾーニング・防護服の使用等の標準予防策の実施について各部署へ指導した。

(3) 給食調理係の評価

全調理員が「毎年、1つは新たな取り組みをしていこう」をコンセプトとして、楽しく・美味しい食事を追求した。誕生日会を毎月開催し、対象の方に複数のデザートの中から選択してもらい、バラ農園から取り寄せた花と一緒にプレゼントした。また、コロナ禍において外出ができない中、祭りの気分を味わっていただけるように屋台を設置、入居者の要望を取り入れたふぐ鍋、焼肉パーティー、報恩講には精進料理を提供した。嚥下困難者へは適時食事形態の変更や栄養補助食品の提供を行い、適切な栄養管理をした。

(4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

介護職員と連携して各入居者の状態を把握し、担当職員の「これをぜひこの人のためにしてあげたい」という内容を盛り込んだプランを作成した。サービス内容は、ご本人に行ってもらえる内容と職員が提供する内容を明確化し、複雑なものにならないよう心掛けた。家族にもわかりやすいように配慮した計画を立案し、確実に実施した。

(5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

入居者が目的を持ってリハビリを行えるように介護職員と連携して指導を行った。「ノーリフティングケア」に関する福祉機器、福祉用具の取り扱いについて適時介護職員に指導や助言を行った。機器について、昨年度より使用頻度が増え、入居者の安楽な生活に結びついている事例もあった。

(6) 生活相談員の評価

リスクマネジメントを意識し、事前対応、問題発生時の早期対応、その後のケアサポートに精力的に取り組んだ。コロナ禍においての地域貢献については施設として難しかったが、他町からの緊急的なショートステイも積極的に受け入れ、違った形にはなるが地域福祉の一助となるように努めた。また、入所相談時に親身に対応し、「他の病院・施設に入院・入所することとなりましたが、あの時は助かりました」「これからの生活のイメージが湧きました」などの言葉も聞かれた。新規加算について準備を整え、翌年度から算定できるようになった。

(7) 総務係の評価

外来者対応の窓口として新型コロナウイルス感染症対策に注力した。公益財団法人JKAによる新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援を受けて、「非接触体表面測定サーマルカメラ」を導入。検温時、職員が接触・近づく機会を減らすことができた。問診票による来訪者の体調チェックや消毒作業等により、施設への入室管理について確実に実施できた。感染症対策用品の購入を含め、施設備品の新規購入、更新を行い、適切な予算の執行、利益の確保に努めた。直接面会は、施設内1階でのアクリル板越し面会を8・10・11・12・1月と実施。回数は115回、延べ296人が来所された。

全職員共通

(1) 労働環境の充実

介護補助員の考え方が職員間で定着し、居室の清掃等の介護業務以外について分担ができ、介護職員の負担軽減となった。介護記録ソフトの電子化、タブレットの導入で、いつでも入力や確認ができるメリットを感じる職員が多いが、高齢の職員については時間を要する者もあり、助け合いながら行った。

(2) 人材育成・技術向上

外部研修のオンライン化(WEB)が全国的に定着しており、研修場所に行かなくても、施設内でできることで移動時間がかからない、業務中にできるなどのメリットが多く、積極的に参加できた。BCP(業務継続計画)を意識した非常食の定期的な提供、感染症対策実地研修により、有事に対しての職員の意識が高まった。

3 職員の状況

職員数と令和3年度中における異動

職種	区分	現員 (人) R3. 4. 1	令和3年度中における異動				現員 (人) R4. 4. 1
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)	
正職員	施設長	1					1
	事務職員	3					3
	生活相談員	1					1
	看護職員	4					4
	機能訓練指導員	1					1
	介護職員	25	3		1	2	23
	介護支援専門員	(3)					(3)
	栄養士	2					2
	調理員兼務介護職員	2	1			2	3
常勤職員	介護職員	7		1	1	2	9
	調理員兼介護職員	4					4
非常勤職員	事務職員	2					2
	看護職員	1					1
	介護職員	4	3	2	1	1	3
	介護支援専門員	(1)					(1)
	調理員兼務介護職員	1					1
	介護補助員	3					3
	宿日直員	3					3
嘱託医師	1					1	
	合計	(4) 65	7	3	3	7	(4) 65

() の数字は他職種との兼務を示す

4 入居者の状況

本入所の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)	令和3年度の入退所者		
				入所(人)	退所(人)	差異(人)
豊北町	7	42	49	8	13	△5
豊浦町	0	1	1	0	0	0
豊田町	2	3	5	1	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
合 計	9	47	56	9	13	△4

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)	最高年齢 男 96歳 女 101歳 最少年齢 男 63歳 女 74歳 性別平均年齢 男 87.3歳 女 90.5歳 平均年齢 89.4歳
～70歳	1	0	1	1.8	
71～80歳	1	3	4	7.1	
81～90歳	5	22	27	48.2	
91～100歳	2	19	21	37.5	
101歳～	0	3	3	5.4	
合 計	9	47	56	100.0	

区 分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食 事	自 立	9	22	31	55.3
	一部介助	0	9	9	16.1
	全面介助	0	16	16	28.6
排 泄	自 立	2	7	9	16.1
	一部介助	7	25	32	57.1
	全面介助	0	15	15	26.8
入 浴	一 般 浴	3	7	10	18.0
	特 殊 浴	6	40	46	82.0

5 実績

特養（定員 60 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実績	1,737	1,810	1,697	1,765	1,768	1,675	1,620	1,508	1,695	1,720	1,606	1,678	20,279
	利用率	96.5	97.3	94.3	94.9	95.0	93.0	87.1	83.8	91.1	92.3	95.6	90.2	92.6
令和2年度	実績	1,769	1,803	1,700	1,785	1,843	1,671	1,725	1,651	1,768	1,735	1,596	1,828	20,874
	利用率	98.2	96.9	94.4	96.0	99.0	92.8	92.7	91.7	95.0	93.2	95.0	98.3	95.3

退所について

退所者は13名（男性4名、女性9名）。施設にて看取りをした方が4名。入院先で死亡された方が3名、長期入院による退所の申し出の方が5名。既往歴の治療により専門の医療機関へ入院され退所した方が1名。平均介護度は、3.9であった。

短期入所（空床利用型）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	実績	27	0	4	30	12	38	20	28	56	59	53	71	398
	利用率	1.5	0.0	0.2	1.6	0.6	2.1	1.1	1.5	3.0	3.1	3.1	3.8	1.8
令和2年度	実績	0	30	55	51	13	83	79	40	8	9	28	25	421
	利用率	0.0	1.6	3.1	2.7	0.7	4.6	4.1	2.2	0.4	0.5	1.6	1.3	1.9

利用の内訳

要支援認定者の利用が1名あった。（6月に4日間、10月に4日間）要介護認定者の利用者の内、3名が30日を超えるロングショートであった。2人は、緊急で受け入れ対応を行い、次の行き先が決まるまで、家族・親族、ケアマネジャー等と協力して支援ができた。もう1人は次が決まっておらず引き続きショートステイを継続している。

※ 特養部門と短期入所部門を合わせた合計利用率は昨年度を下回ったが、日常生活継続支援加算Ⅱ、介護職員等特定処遇改善加算Ⅰの取得により増収となった。

6 研修の状況

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	看 護 職 員	介 護 職 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	栄 養 士	調 理 員 兼 務 介 護 職 員
老人福祉施設基礎コース	4/27					1			1	
災害時における社会福祉施設での食 事提供について	6/2								1	
介護支援専門員更新研修	7/8, 7/17 7/21, 8/24 10/22			1			2			
老人福祉施設レクリエーション研修	7/19							1		
医学の基礎知識(Web セミナー)	7/29					2				
介護助手普及推進セミナー (Web セミナー)	8/6			1		6				
第1回介護事業者支援セミナー 『新たな算定要件の完全解説と LIFE の導 入と活用法』『業務継続計画 (BCP) の義 務化対策と6月からの実地指導に備える』 (Web セミナー)	8/10	1		1						
レクリエーション研修	8/17					1				
介護記録の書き方(Web セミナー)	8/25, 9/1					2				
介護施設における安全対策担当者 養成研修 (WEB 研修)	8/30			1						
栄養ケア・マネジメント step00 研修	9/15								1	
介護現場における感染症の予防と対策	10/20					1				
フィジカルアセスメントの考え方、進 め方	10/26					2				
介護職のためのターミナルケア(看 取り介護)	10/28, 10/29					1				
メンタルヘルス研修(Web セミナー)	11/5		1							

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	看 護 職 員	介 護 職 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	栄 養 士	調 理 員 兼 務 介 護 職 員
老人福祉施設基礎研修	11/11					1			1	
甲乙同時防火管理者講習	11/11, 11/12					1				
下関支部感染対策 WEB 研修会	11/15				1	2				
福祉施設給食担当研修	12/17								1	
改定の検証と 2024 年同時改定を視野に入れた介護事業戦略 (Web セミナー)	12/20	1		1						
2021 年度中国・四国ブロック災害支援セミナー(Web セミナー)	1/17	1		1						
監事専門講座(Web セミナー)	1/26	1	1							
災害マネジメント研修	2/1			1						
床ずれ予防のスキンケア (Web セミナー)	2/8					1	1	1		
明日から実践！ポジショニング (Web セミナー)	2/9						2	1		
能力開発啓発セミナー『効果を上げる内部研修の進め方』 (Web セミナー)	2/18					1	1			
山口県老人福祉施設協議会総会・研修会(Web セミナー)	3/1	1								
非常時に慌てず働ける職場づくり (Web セミナー)	3/4						1			
山口県経営協総会・研修会 (Web セミナー)	3/14	1								
認知症介護基礎研修	3/15					3				

7 その他

(1) 年間の主な会議の実施結果

会議名	内容	開催日	出席者
運営会議	施設の経営状況の確認	毎月(アスピア合同)	施設長、生活課長、各部署代表、ヘルパー責任者
安全衛生委員会	労働中の危険及び健康障害の防止等を検討	毎月	
職員会議 施設内研修	事務連絡等 各種研修会	4, 6, 7, 9, 10, 12月	全職員
リーダー会議	介護に関わる連絡確認 施設行事を確認	毎月	施設長、生活課長、各部署代表、ユニットリーダー
サービス担当者会議	入居者のケアプランを決定	毎月	介護支援専門員、ユニット職員、各職種代表
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3月	施設長、各職種代表、第三者委員
苦情解決委員会	苦情に関する事例報告	3月	第三者委員、理事長、施設長、生活課長、法人内の各施設の生活相談員
研修委員会	気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を検討	6, 9, 12, 2月	リーダー以外の各部署代表職員
Section meeting	入居者の状況確認ケア内容を決定	2階7回 3階10回 4階11回 医務9回 調理11回	各部署職員
処遇に関する委員会	感染症対策委員会※	4, 6, 8, 9, 10, 12, 1, 2月	生活課長、各フロア一介護職員、各部署代表
	事故発生防止委員会	5, 8, 11, 3月	
	身体的拘束等防止・監視委員会	毎月	
	褥瘡対策チーム	5, 7, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3月	生活課長、リーダー以上、各部署代表
	食事内容の検討会議	6, 9, 12, 3月	
	質の評価検討会議	5, 11, 3月	
	口腔内のたんの吸引等安全対策委員会	4, 7, 10, 1月	
相談員会議	各施設の連絡、確認	9月	法人内の各施設の生活相談員
栄養士会議	各施設の連絡、確認	11月	法人内の各施設の栄養士等

※ 感染症対策委員会事業評価について

入居者・職員共に、インフルエンザ患者、新型コロナウイルス陽性者はいなかった。新型コロナウイルス感染症対策として、周辺の状況、山口県の感染状況、国の施策を適時インターネットであつたり職員からの情報提供等により把握して、適時、臨時の会議を開催し対応を検討した。また、感染者が出た場合を想定したシュミレーション訓練を毎月実施し、全体研修を職員会議の都度行った。また、日頃から手洗いを適切なタイミングで正しく行っていくことにより、施設内における感染症を防ぐことに繋がった。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関連行事等
4	お花見（ドライブ） お花見会（施設内）	
5	春外出（ドライブ） らっきょう漬け（食事作り）	職員検診（夜勤勤務職員） 新型コロナワクチン予防接種（1回目）
6	いぎの葉だんご作り（おやつ作り）	入所検討委員会 新型コロナワクチン予防接種（2回目）
7	七夕市（行事食）	害虫駆除
8	盆法要 花火（3階） 盆踊り（4階） 焼肉（行事食） 落語鑑賞（DVD）	アクリル板越し面会
9	防災の日（非常食） 敬老会（各階毎） カラオケ	入所検討委員会
10	秋祭り（食事） 秋外出（ドライブ） DVD鑑賞 運動会	入居者結核検診 アクリル板越し面会 衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査不在者投票 参議院山口県選挙区選出議員補欠選挙
11	ふぐ鍋（行事食） わくわくデイ（紙芝居）	職員検診（全職員） ストレスチェック アクリル板越し面会
12	わくわくデイ（ハンドベル演奏） クリスマス会（各ユニット毎） 忘年会 焼き芋 もちつき	インフルエンザ予防接種 入所検討委員会 害虫駆除 アクリル板越し面会
1	元旦行事 わくわくデイ（正月遊び） どんど焼き 報恩講（精進料理・行事食）	アクリル板越し面会 山口県知事選挙不在者投票 新型コロナワクチン予防接種（3回目）
2		消火避難訓練（日中想定）
3	お茶会 わくわくデイ（寸劇） 彼岸法要	消火避難訓練（夜間想定） 災害想定避難訓練 入所検討委員会 苦情解決委員会
備考	・喫茶開設（第3水曜日） ・誕生日会（毎月） ・ドライブ（適時） ・美容の日（第2月曜日）	

(3) 給食の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの 平均栄養量 及び給食単価	令和3年度実績	1,396 kcal	経口	744 円
		846 kcal	経管	1,054 円
	令和2年度実績	1,373 kcal	経口	725 円
		837 kcal	経管	1,018 円

(4) 主な帳簿

種 別	記 録 事 項
介護日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入居者ひとり一人のケア計画
個人ケース	入居者の日々の記録
看護日誌	看護に関する記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印する
出張命令簿	出張の際、管理者に届け出る
新型コロナに係る体温・体調記録簿	午前・午後の検温、勤務時の体調把握